

	発行者の略号	教出	教芸
	書名	中学音楽 音楽のおくりもの	中学生の音楽
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	○ 主体的な学びと、協働的な学習活動を重視して編集されている。教材ごとの関わりや発展的学習につながるページ（すすんで学び合おう・比べてみよう・深めてみよう）が配置されており、授業実践に活用しやすいような工夫がされている。	○ 「音楽を通して社会と関わりながら豊かな人生を切り拓く力」「音楽の幅広い知識や技能」「主体的・対話的で深い学びの実現によって得られる、汎用性の高い学力」を育むことが基本方針として掲げられ、指導要領に示された目標をより具体的なイメージに落とし込んでいる。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 教材ごとにねらいが示され、目標を意識して学習に取り組むことができる。また、教材からつながる発展的課題のページも配置され、楽曲を通して知識や技能を身につけられるように工夫されている。 ② はじめて触れる楽曲や楽器であっても、既存の知識や学習を応用して学べるように、教材同士の関連が示されている。 ③ 「何が同じで、何が違う？」では、音楽を通して世界とのつながりを実感できるように、「私たちの暮らしと音楽」では著作権やアウトリーチなど、現代社会の音楽とその役割について考えることができるように工夫されている。	① 教材ごとにねらいや活動内容が示され、目標を意識して学習に取り組むことができる。また、音楽記号や用語について、説明されているページ番号とともに抜き出して示されており、楽曲を通して知識や技能を身につけられるように工夫されている。 ② キャラクターたちの会話によって疑問やアイディアなどが示され、思考を深めるサポートをしている。 ③ 現在活躍している文化人・音楽家たちの言葉が、音楽を通じた生き方や価値観を学ぶための教材として示されている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	① 市の基本方針に関連している。	① 市の基本方針に関連している。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 「学びのユニット」として各教材が比較・関連教材として整理され、主体的・協働的な学習のヒントが示されている。 ② 外国語歌唱教材の扱いや、年表による世界史・日本史との比較、地理や理科での既習内容との関連などが示されている。 ③ 自分の考えをまとめて交流できるような紙面構成がされている。またWEBリンクでワークシートが用意されており、思考・記述する学習の充実が図られている。 ④ 郷土の伝統音楽のよさを味わい愛着をもつことができるよう、歌舞伎の鑑賞から長唄や三味線の唱歌につなげるなど、鑑賞と表現との関連が図られている。 ⑤ 「六段の調」での箏の演奏（器楽とは別扱い）、能での謡など、体験を通してより深く伝統音楽を味わう工夫がされている。 ⑥ 1年生の教科書では、歌いやすい声域の楽曲や同声合唱曲などが配置され、混声合唱への段階的な移行について配慮されている。 ⑦ 学習に役立つ情報「まなびリンク」にアクセスできるQRコードが巻頭に示されている。 ⑧ 配色やフォント、ページデザインについてユニバーサルデザインの視点で工夫されている。難しい漢字や固有名詞にはルビがふられている。 ⑨ 写真やイラストが使われ、楽しくわかりやすい構成が工夫されている。	① キャラクターたちの吹き出しによって、話し合いや対話をイメージしやすく示し、主体的・対話的で深い学びを促している。 ② 外国語歌唱教材の扱いや、年表による日本音楽史と世界音楽史の比較など、外国語や社会科の学習内容との関連が示されている。 ③ 鑑賞や創作のページでは課題とともにワークシートが示されており、思考・記述する学習の充実が図られている。 ④ 郷土の伝統音楽に興味を持ち、愛着をもつことができるよう、充実した写真資料とともに視覚的にもわかりやすく提示されている。 ⑤ 雅楽や能での唱歌、交響曲での指揮など、体験を通してより深く音楽を味わう工夫がされている。 ⑥ 1年生の教科書では、歌いやすい声域の楽曲や同声合唱曲などが配置され、混声合唱への段階的な移行について配慮されている。 ⑦ 紙面上の二次元コードに埋め込まれたURLを読み取ることによって、学習に役立つ画像などのコンテンツが閲覧できるようになっている。 ⑧ 配色やフォント、ページデザインについてユニバーサルデザインの視点で工夫されている。難しい漢字や固有名詞にはルビがふられている。 ⑨ 文字情報、イラスト、写真が適切に使い分けられ、楽しくわかりやすい構成が工夫されている。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 適切である。 ② 糊綴じである。 ③ 右のページから教材が切り替わることがある。背景のない切り抜き写真が使われている。	① 適切である。 ② 糸中綴じ方式によりページを開きやすく、また丈夫である。 ③ ページ全体を使った大きな写真が、歌唱共通教材について、楽曲の世界や歌詞の内容をイメージしやすくしている。	
イ 教科・種目別の観点	① 表現及び鑑賞の基礎的な能力を養うために、〔共通事項〕をよりどころとして、主体的・協働的な学習の展開が図られるような工夫や配慮がなされているか。	○ 「学びのユニット」では、楽曲と関連の強い共通事項がわかりやすく示されている。 ○ 「Let's Try」「Let's Sing」など、思考力・表現力を高めるための発問や課題が提示され、主体的・協働的な学びを促している。 ○ 創作のページはワークシートを兼ねており、他の教材と関連させながら楽しく学習できるように工夫がされている。	○ 目次とは別に、表現及び鑑賞の学習内容を系統的にまとめたページが設置されており、学びの内容、関連する共通事項などが確認できるようになっている。 ○ ワークシートを兼ねた課題のページが設置されており、教材を通じた主体的・協働的な学びを促している。 ○ 創作の課題が各学年に二つずつ掲載され、学びの手順とワークシートとがともに示されている。
	② 「A表現」や「B鑑賞」の教材は、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されているか。	○ 我が国や世界の舞台芸術について、各学年で扱いがあり、系統的な学習が可能である。 ○ 郷土の音楽、アジアの音楽についての扱いが各学年である。	○ 我が国や世界の民族音楽について、各学年で扱いがあり、系統的な学習が可能である。 ○ 創作について、学年を追って段階的に課題が設定され、3年間を通じた学習の積み重ねが意図されている。
	③ 音楽文化の理解について、多様な音楽を、身の回りの生活や社会と関連させながら学習するための工夫や配慮がなされているか。	○ 「私たちの暮らしと音楽」で、著作権について、アウトリーチ・教育活動・音楽療法について扱われており、現代社会における音楽の役割、ルールなどについて学ぶことができる。	○ 「生活や社会の中の音楽」で、アウトリーチや音楽に関わる職業、SDGsについて扱われており、音楽が生活や社会に役立つ場面を実感する学習を促している。